

## 蒲生海岸の砂浜の堆積について（2）

### ■ 蒲生海岸の砂浜について

蒲生海岸の堆積の変化を確認した。（調査地点はFig1参照）七北田川河口付近では、Fig2とFig3を比較すると、6月の調査では見ることができた護岸ブロックが10月では、完全に砂に埋もれてしまっている。現在、河口北側への堆積傾向が強いことが分かる。また、調査地点2ではFig4とFig5を比較すると、4月頃に見られなかった海岸線付近に、堆積後（盛り上がった後）、削られた跡が見られる。これは、海側にも堆積が続いているが、波などによって侵食も受けているのではないかとみられる。このことから、海岸線については、堆積と侵食の関係が、ある程度落ち着いているのではないかと考えられる。今後、GPSによるトレースのデータと比較し、確認していく必要がある。



Fig.1 調査地点（津波以前の地形）  
 ※矢印は撮影した方角



Fig.2 2014年6月18日  
 調査地点1から西側を望んだところ



Fig.3 2014年10月2日 調査地点1から西側を望んだところ



Fig.4 2014年4月15日  
 調査地点2から仙台新港を望んだところ



Fig.5 2014年9月5日  
 調査地点2から仙台新港を望んだところ  
 堆積後、削られたようすが分かる。